第8回フランス詩と歌曲のタベ

楽曲と詩の解説とともに名高いフランス歌曲の世界を楽しむひととき

2026.10.9 金

学習院創立百周年記念会館 小講堂（3F）

開場 16：45／開演 17：30／入場無料 来場予約はこちらから➡

ピアノ・楽曲解説 三ツ石潤司　バリトン 鎌田直純　ソプラノ 駒井ゆり子　朗読 ティエリ・マレ　詩解説 吉田加南子／岡部杏子／中山慎太郎

Profil des interprètes

三ッ石潤司（ピアノ・楽曲解説）

兵庫県生まれ。東京藝術大学作曲科卒業、同学大学院博士課程(音楽学)単位取得。1988年よりウィーン国立音楽大学に学び、翌1989年より教育科、作曲指揮科講師を経て、同学で初めてのアジア人声楽科専任講師としてリート・オラトリオ科でエディット・マティス教授のアシスタントなどを務める。その傍らウィーン、パリを始めヨーロッパ各地の劇場や音楽祭でコレペティートア、またロームミュージックファンデーション主催の音楽セミナー（指揮指導小澤征爾氏)講師として活躍した。2008年に帰国。作曲家としては音楽遊戯『アリスの国の不思議』の制作初演（東京・兵庫2016)、「かぎやで風2.0（琉楽とオーケストラを共存させる試み）」「オーケストラと合唱のための『祈り−2025』（以上二作沖縄、ビューロー DanK委嘱作品）また2024−25年の二夜にわたる声楽作品の個展は好評を博した。武蔵野音楽大学教授、東京藝術大学准教授、新国立劇場オペラ研修所専任コレペティートアを歴任。長年の功績に対して2009年にオーストリア共和国功労金章受章。

鎌田直純（バリトン）

東京藝術大学卒業、同大学院修了。大学院在学中に『ペレアスとメリザンド』のペレアス役に抜擢。大学院修了後1982年に渡欧。フランシスコ・ヴィニャス国際コンクール（バルセロナ）他、ヨーロッパの声楽コンクールに入賞。パリ・エコール・ノルマル音楽院首席修了。パリを中心に演奏活動後、1992年帰国。オペラ『ロミオとジュリエット』、『ホフマン物語』など多数の舞台に出演。ジャン・フルネ指揮による東京都響定期『ペレアスとメリザンド』のペレアス、フォーレ『レクイエム』のCDでバリトン・ソロを歌う。2016年7月にフランスのラングドック地方でのセヴラック音楽祭に出演。二期会、日本フォーレ協会、二期会フランス歌曲研究会、コンセールC、日本セヴラック協会会員。東京学芸大学名誉教授。

駒井ゆり子（ソプラノ）

東京音楽大学、同大学院修了。二期会オペラ研修所を優秀賞、奨励賞を得て修了。パリ・エコール・ノルマル音楽院にてコンサーティストディプロムを声楽と室内楽で審査員満場一致および称賛付きを得て取得し、首席で修了。全日本学生音楽コンクール第2位、長久手国際オペラ声楽コンクール第3位、モーツァルトコンクール第2位、東京音楽コンクール第2位、国際ベルヴェデーレオペラコンクール日本代表及び盛岡賞、ヴェローナオペラコンクール日本代表、国際フランス声楽コンクール特別賞等、内外のコンクールで上位入賞を果たし、トゥールーズ国際フランス歌曲コンクールでは最優秀ピアノ声楽デュオ賞を受賞。文化庁海外派遣研修員（パリ）、二期会フランス歌曲研究会運営委員、日本フォーレ協会会員、桐朋学園大学講師、二期会会員。

ティエリ・マレ（朗読）

高等師範学校卒業、作家、学習院大学教授。専門は演劇全般。小説に*L' Heure sainte*（Gallimard, 1991）、*La Rencontre aux enfers*（Gallimard, 1992）、*L' Amour de loin*（Gallimard, 1994）、エセーに*Lettres édifiantes et curieuses du Japon*（ELYTIS. 2019）、訳書にヴァレール・ノヴァリナ『紅の起源』（れんが書房新社、2013）などがある。

吉田加南子（詩解説）

詩人、学習院大学名誉教授、朝日カルチャーセンター講師。著書に詩集『定本 闇』（高見順賞）、編訳『デュブーシェ詩集』（いずれも思潮社）、『愛のフランス詩集』（天来書院）、『フランス詩のひととき』（白水社）など。

岡部杏子（詩解説）

学習院大学文学部フランス語圏文化学科非常勤講師。専門は近現代フランス詩、ジェンダー研究。著書に『鳥たちのフランス文学』（編著、幻戯書房、2024）、論文に「19世紀フランス詩の日本における受容―マルスリーヌ・デボルド＝ヴァルモールの場合」（共著、水声社、2024）がある。

中山慎太郎（詩解説）

跡見学園女子大学文学部准教授、学習院大学非常勤講師。主な訳書に『私は知っている』（水声社、2019）など。主な論文に、「シャンソン・パルレ―ジャン・コクトーの詩学における詩と音楽」（2023）、「スウィングする主体―ジャック・レダの詩学における詩とジャズ」」（2024）、「イヴ・ボヌフォワが見たマラルメの詩学――ドゥーヴ、かさね、『敷居の惑わしの中で』をめぐって」（2025）などがある。

Programme

第1部

1. Gabriel Fauré　*Dans les ruines d'une abbaye*
「ある僧院の廃墟にて」

2. Erik Satie　*La statue de bronze*
「ブロンズの彫像」

3. Erik Satie　*Ludions*
『リュディオン（潜水人形）』

1) Air du rat　「ネズミのアリア」
2) Spleen　「憂鬱」
3) La grenouille américaine　「アメリカの蛙」
4) Air du poète　「詩人のアリア」
5) Chanson du chat　「猫のシャンソン」

4. Camille Saint-Saëns　*Danse macabre*
「死の舞踏」

休 憩

第2部

5. Francis Poulenc　*Le Bestiaire*
『動物詩集』

6. Francis Poulenc　*Fêtes Galantes*
「雅なる宴」

7. Francis Poulenc　*Hyde Park*
「ハイド・パーク」

8. Maurice Ravel　*Histoires naturelles*
『博物誌』

1) Le paon　「孔雀」
2) Le cygne　「白鳥 」
3) La pintade　「ホロホロ鳥 」

※曲目、曲順が変更となる場合もございます
※当日は詩の原文・翻訳をお渡しいたします

フランス詩と歌曲の夕べ

主催：学習院大学文学部フランス語圏文化学科
共催：学習院大学文学会
問い合わせ先：フランス語圏文化学科 公式HP

アクセス
■ JR山手線 「目白駅」下車すぐ
■ 東京メトロ副都心線 「雑司が谷駅」下車 徒歩約7分